

【ご利用に当たって】

このファイルはどなたでも自由に利用することができます。サイトやブログへの転載や配布は可能ですが、内容の改変、転売、商用での利用はご遠慮ください。また、このファイルは印刷してご利用ください。印刷物に関しては断り無く、コピー、配布していただいて結構です。学術機関等で利用していただいても結構ですが、その場合は、info@kankako.com までご連絡をお願いします。

また、ファイルによっては印刷枚数が数十枚に上ることがあります。確認の上、印刷を行ってください。

このファイルを利用したことによる一切の損害は、当サイトでは負いかねますので予めご了承ください。

【ご意見・ご要望】

当サイトでは、ニーズに合わせた問題ファイルをお作りします。すべてのご意見・ご要望にお答えすることはできませんが、可能な限り対応させていただきます。about@kankako.com までご連絡ください。直接 PDF ファイルを添付して返信するか、ホームページで公開させていただきます。ニーズに合わせた問題ファイルは以下の例を参考にしてください。

例)

- ・ 第 20～24 回国家試験の社会・環境と健康の分野 100 問
- ・ 第 20 回国家試験からランダムで 20 問
- ・ 基礎栄養学と応用栄養学からランダムで 20 問
- ・ 難易度が低い問題のみ
- ・ 難易度が高い問題のみ
- ・ 図表問題のみ etc…

また、当サイトでも順次ファイルを作成し、公開していきます。今後もカンカコドットコムをよろしく申し上げます。



第20回国家試験 午後問題

20-106 行動科学理論に関する記述である。社会的学習理論は、1970年代に(a)によって提唱され、社会的行動は直接強化を受けなくても、他人の行動や経験を(b)だけで発生するという事に注目して、(c)を重視したものである。()に入る正しいものの組合せを選べ。

- (1) a:プロチャスカ (Prochaska JO) b:まねる c: セルフエフィカシー
- (2) a:プロチャスカ b:認める c: モニタリング
- (3) a:プロチャスカ b:ほめる c: エンパワメント
- (4) a:バンデューラ (Bandura A) b: まねる c: モデリング
- (5) a:バンデューラ b: 認める c: グループワーク

20-107 45歳男性。職場の定期健診で、肥満、軽症高血圧、耐糖能異常と診断された。自分は健康であると思っており、朝食抜きで昼食と夕食は外食、多量飲酒などの生活習慣を変える気はない。行動変容段階モデルに基づいた、適正な生活習慣への変容を図るための働きかけに関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 生活習慣の問題点について話し合う。
- (2) 朝食を毎日食べることを約束させる。
- (3) 外食をやめるように勧める。
- (4) 禁酒を勧める。
- (5) 6か月後の体重減少目標を決めさせる。

20-108 肥満を改善するための行動変容技法に関する組合せである。正しいものを選べ。

- (1) 自己監視法—食べなくなったら歯を磨く
- (2) オペラント強化法—目標体重に近づいたらほめる
- (3) 刺激統制法—すすめられた酒の断り方を練習する
- (4) 反応妨害法—見える所に菓子を置かない
- (5) 社会技術訓練—体重変化を毎日記録する

20-109 栄養教育におけるアセスメントの方法と得られる情報の組合せである。正しいものを選べ。

- (1) 身体計測—血圧
- (2) 生理・生化学検査—日常生活動作能力 (ADL)
- (3) 臨床診査—尿中たんぱく質
- (4) 生活時間調査—栄養素摂取状況
- (5) 食行動調査—セルフエフィカシー

第 20 回国家試験 午後問題

20-110 食物摂取状況の情報収集に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 質問票法は、質問数が多ければ多いほどよい。
- (2) 観察法は、被観察者の行動に観察の影響が及ばないように配慮する。
- (3) 実測法は、1 日調査でも個人の日常の食物摂取状況を把握できる。
- (4) 集団面接法は、国民健康・栄養調査で用いられている。
- (5) 既存資料として、人口動態統計のデータが活用できる。

20-111 栄養教育の計画に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 対象者の実態把握のために、本人による食事記録は必須である。
- (2) 複数の小目標を設定したうえで、最終目標を決める。
- (3) 知識の獲得を重視したカリキュラムが、食行動変容に効果的とされる。
- (4) 専門職から成る指導者チームの場合は、事前の打合せは必要ない。
- (5) 教育効果の評価項目は、栄養教育前に決める。

20-112 カウンセリングに関する用語の記述である。正しいものを選び。

- (1) カウンセリングマインドとは、カウンセリングを受ける人の心構えをいう。
- (2) 非言語的表現とは、絵画や映像を面接に用いることをいう。
- (3) 傾聴とは、相手の立場に立って話を聴く態度をいう。
- (4) 受容とは、相手を全面的に受け入れて理解しようとする態度をいう。
- (5) 共感的理解とは、相手の感情を理解して同じ感情をもつことをいう。

20-113 栄養教育の教育内容と教材の組み合わせである。正しいものを選び。

- (1) サプリメントの使用量—食事摂取基準
- (2) 休養の方法—食生活指針
- (3) 疾病の罹患危険性—生命表
- (4) 外食料理のエネルギー量—食料需給表
- (5) 加工食品のビタミン含有量—原材料名の表示

第 20 回国家試験 午後問題

20-114 一斉学習、グループ学習、個別学習の 3 種の学習形態を全て含む組合せである。正しいものを選び。

- (1) 講義—パネルディスカッション—通信教育
- (2) 講義—ロールプレイ—カウンセリング
- (3) パネルディスカッション—シンポジウム—読書
- (4) バズセッション—ブレインストーミング—カウンセリング
- (5) レクチャー—フォーラム—ワークショップ—ロールプレイ

20-116 妊婦への食物摂取上の注意に関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) カフェインを含むコーヒーは日常的に多飲してもよい。
 - b) 妊娠初期はメチル水銀を多く含む魚の種類に気をつける。
 - c) 酒類の摂取に注意を払わなくてもよい。
 - d) 葉酸不足の予防のために、サプリメントも適宜利用する。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-117 栄養教諭の職務内容（中教審答申、平成 16 年）に関する記述である。間違っているものを選び。

- (1) 食物アレルギーのある児童生徒への個別指導
- (2) スポーツをする児童生徒への個別指導
- (3) 給食を教材とした食に関する指導
- (4) 糖尿病に罹患している保護者への個別指導
- (5) 地域の食に関する行事への参画

20-118 食環境づくりには食物へのアクセス面と情報へのアクセス面がある。食物へのアクセス面での取り組みに関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) コンビニエンスストアが、健康に配慮した弁当を開発し販売する。
 - b) スーパーマーケットが、健康的なメニューのレシピを配布する。
 - c) 外食店のホームページ上で、メニューの栄養成分を開示する。
 - d) ボランティア団体が、高齢者への配食サービスを行う。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 20 回国家試験 午後問題

20-119 諸外国の食生活・栄養改善活動に関する記述である。間違ってるものを選べ。

- (1) スローフード運動では、地域の食材を活用した食文化の継承が重視されている。
- (2) ファイブ・ア・デイ運動では、間食を含めて 1 日 5 食を勧めている。
- (3) アメリカでは、朝食を提供する学校給食プログラムがある。
- (4) フードガイドとは、何をどれだけ食べたらよいか示したものである。
- (5) 開発途上国で重要とされているものの 1 つに、微量栄養素欠乏を改善するプログラムがある。

20-120 WHO（世界保健機関）と FAO（国連食糧農業機関）による食物ベースの食生活指針（Food-based Dietary Guidelines）に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 地域の伝統的な食習慣を考慮しない。
- (2) 食料生産の持続性を考慮しない。
- (3) 栄養素別に数値目標が示されている。
- (4) 世界栄養宣言に基づいている。
- (5) 開発途上国では策定されていない。

20-121 糖尿病の検査に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) HbA1c 値は、採血時から過去 1～2 週間の平均血糖値を反映する。
- (2) 赤血球の寿命が短縮される貧血では、HbA1c 値の評価には注意を要する。
- (3) 2 型糖尿病では抗膵島抗体が検出される。
- (4) 低たんぱく血症を伴う場合、フルクトサミン値は実際よりも高値を示す。
- (5) 尿糖陽性の場合、糖尿病と診断する。

20-122 非経口栄養法に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 末梢静脈栄養では、1 日 2000kcal のエネルギーを補給できる。
 - b) 中心静脈栄養施行時に発熱がみられた場合には、カテーテル感染を疑う。
 - c) 長期静脈栄養療法では、腸管粘膜の萎縮が起こりやすい。
 - d) 浸透圧の低い経腸栄養剤では、下痢が起こりやすい。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 20 回国家試験 午後問題

20-123 中心静脈栄養法で管理している意識障害患者が、乳酸アシドーシスを発症した。原因として考えらるものである。正しいものを選び。

- (1) ビタミン B1 欠乏
- (2) ビタミン B6 欠乏
- (3) ビタミン B12 欠乏
- (4) ビタミン C 欠乏
- (5) ビタミン D 欠乏

20-124 薬物と食物・栄養との相互作用に関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) グレープフルーツ摂取により、カルシウム拮抗薬の血中濃度は低下する。
 - b) グレープフルーツ摂取により、薬剤解毒酵素が阻害される。
 - c) ビタミン K は、ワーファリン（ワルファリン）の作用を阻害する。
 - d) ワーファリン服用者には、納豆の摂取を勧める。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-125 栄養ケアの記録についての記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 栄養ケア目標は、POS（問題志向システム）の初期計画として表現する。
 - b) POMRC（問題志向型診療記録）においては、臨床検査データは、主観的データとして記録する。
 - c) POMRC においては、食事摂取状況の観察は、客観的データとして記録する。
 - d) 栄養食事指導料算定のためには、看護記録へ栄養ケア内容を記録する必要がある。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-126 カルシウム欠乏症に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 血中アルカリホスファターゼ濃度の低下がみられる。
- (2) 血中副甲状腺ホルモン濃度の低下がみられる。
- (3) 血中カルシトニン濃度の増加がみられる。
- (4) テタニーがみられる。
- (5) 視力障害がみられる。

第 20 回国家試験 午後問題

20-127 食物アレルギーについての記述である。正しいものを選び。

- (1) 診断には、血液中の特異的 IgA 抗体を測定する。
- (2) キウイフルーツは、原因にならない。
- (3) 母乳は、アレルゲンにはならない。
- (4) 食事療法では、代替食品を用いる。
- (5) 免疫寛容により、食物アレルギーが悪化する。

20-128 糖尿病の運動療法に関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) インスリン治療患者では、早朝空腹時の運動療法は避ける。
 - b) 運動療法により、インスリン抵抗性は改善する。
 - c) ケトアシドーシスを合併する患者には、運動療法を指導する。
 - d) 運動療法は、強度が高いほど効果的である。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-129 糖尿病合併症に関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 糖尿病神経障害は、便秘の原因となる。
 - b) 糖尿病ケトアシドーシスの治療には、食事療法を優先させる。
 - c) 糖尿病腎症の進行した腎不全期では、血清クレアチニン値は低下する。
 - d) 糖尿病網膜症は失明の原因となる。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-130 40 歳男性、研究職、身長 175cm、体重 65kg、血圧 126/70mmHg、起床時に左足第一中足趾関節部の激痛があり、痛みが治らないため受診。尿酸値 11.0mg/dL。適切な栄養指導はどれか。正しいものを選び。

- (1) 不飽和脂肪酸の摂取を制限する。
- (2) 水分の摂取を勧める。
- (3) 減量を指導する。
- (4) 糖質摂取を制限する。
- (5) 食物繊維摂取を制限する。

第 20 回国家試験 午後問題

20-131 53歳男性、事務職、身長170cm、体重70kg、血清総コレステロール245mg/dL、トリグリセリド220mg/dL、HDLコレステロール40mg/dL、自覚症状はなく職場の健康診断で高脂血症を指摘された。適切な栄養管理はどれか。正しいものを選び。

- (1) 1日の摂取エネルギー量を2200～2400kcalとする。
- (2) 1日の摂取エネルギー量を1600～1800kcalとする。
- (3) 1日の摂取エネルギー量を1000～1200kcalとする。
- (4) 1日の摂取脂肪量を20gとする。
- (5) 1日の摂取脂肪量を80gとする。

20-132 慢性膵炎に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 日本人男性の場合、主たる原因は高脂肪食である。
- (2) 脂肪の消化・吸収不良が起こる。
- (3) 急性再燃時には、粥食により栄養補給を行う。
- (4) 安定時の食事は、低たんぱく質食とする。
- (5) グルカゴン欠乏により、高血糖を起こす。

20-133 クロウン病についての記述である。正しいものを選び。

- (1) 直腸が好発部位である。
- (2) 緩解期では、脂肪摂取量を1日当たり30g以下とする。
- (3) 活動期では、食物繊維の摂取を多くする。
- (4) 活動期では、エネルギー補給は標準体重也当たり20kcalとする。
- (5) 成分栄養剤による治療は行わない。

20-134 肝硬変の食事療法である。正しいものの組合せを選び。

- a) 高アンモニア血症では、食事たんぱく質の摂取を増加させる。
 - b) 腹水がみられる場合には、食塩制限が有効である。
 - c) 便秘予防には、ラクチュロースを投与する。
 - d) 非代償期では、芳香族アミノ酸を投与する。
- (1)aとb (2)aとc (3)aとd (4)bとc (5)cとd

第 20 回国家試験 午後問題

20-135 動脈硬化予防のための栄養管理に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 血小板凝集抑制—n-6 系多価不飽和脂肪酸の摂取
 - b) 高 LDL コレステロール血症抑制—飽和脂肪酸の摂取
 - c) 高血圧抑制—適正体重の維持
 - d) 高トリグリセリド血症抑制—フルクトースの摂取制限
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-136 慢性糸球体腎炎に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) わが国では、IgE 腎症の頻度が高い。
- (2) わが国では、新規透析導入の原因の第 1 位である。
- (3) 安静療法では、治療効果は期待できない。
- (4) クレアチンクリアランスが 50mL/分以下に低下するまでは、食事療法は必要ない。
- (5) 食塩の摂取量を制限する。

20-137 ネフローゼ症候群に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 一次性ネフローゼ症候群治療の基本は、副腎皮質ステロイド投与である。
 - b) 高血圧は、診断基準に含まれる。
 - c) 治療により高コレステロール血症は改善する。
 - d) 低たんぱく血症は、グロブリン低下による。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-138 女性 50 歳、主婦、身長 160cm、体重 60kg、BMI23.4kg/m²、以前より糖尿病で受診しているが、糖尿病性腎症と診断された。血圧正常、糸球体濾過値 (GFR) 正常、尿たんぱく 2 (+) が数か月持続。適切な栄養管理はどれか。正しいものを選べ。

- (1) 標準体重当たりエネルギー 20~25kcal/kg、たんぱく質 1.0~1.2g/kg、食塩 10g/日
- (2) 標準体重当たりエネルギー 25~30kcal/kg、たんぱく質 1.0~1.2g/kg、食塩 10g/日
- (3) 標準体重当たりエネルギー 25~30kcal/kg、たんぱく質 0.8~1.0g/kg、食塩 7~8g/日
- (4) 標準体重当たりエネルギー 35~40kcal/kg、たんぱく質 0.8~1.0g/kg、食塩 7~8g/日
- (5) 標準体重当たりエネルギー 35~40kcal/kg、たんぱく質 0.6g/kg 未満、食塩 7g/日未満

第 20 回国家試験 午後問題

20-139 内分泌疾患の病態と栄養管理の記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 甲状腺機能亢進症—水分摂取制限
 - b) クッシング症候群—エネルギー摂取制限
 - c) 原発性アルドステロン症—食塩摂取制限
 - d) 甲状腺機能低下症—高エネルギー食療法
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-140 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) についての記述である。正しいものを選べ。

- (1) 気管支喘息が原因となる。
- (2) 女性に多発する。
- (3) 体重増加が高頻度に認められる。
- (4) 目標とする摂取エネルギー量は、安静時エネルギー消費量とする。
- (5) 血漿分枝アミノ酸濃度は低下する。

20-141 手に化膿創のある人が作ったおにぎりを食べ、3 時間後に悪心嘔吐をきたした。食中毒の原因菌として考えられるものはどれか。正しいものを選べ。

- (1) カンピロバクター
- (2) 腸炎ビブリオ
- (3) 緑膿菌
- (4) ブドウ球菌
- (5) 腸管出血性大腸菌 O-157

20-142 免疫・アレルギーに関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 能動免疫—免疫グロブリン注射
- (2) 受動免疫—ワクチン接種
- (3) 細胞性免疫—IgG
- (4) 移植臓器拒絶反応—B リンパ球
- (5) 食物アレルギー—IgE

第20回国家試験 午後問題

20-143 術前・術後の栄養管理に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 手術により、エネルギー代謝は持続的に低下する。
- (2) 手術により、肝臓における糖新生は低下する。
- (3) 栄養必要量の算出には、侵襲係数（ストレスファクター）を考慮する。
- (4) 胃切除後の後期ダンピング症候群対策として、間食は禁止する。
- (5) 術後消化管出血時には、経腸栄養法が用いられる。

20-144 熱傷に関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 全身性の炎症が認められる。
 - b) たんぱく質の異化は低下する。
 - c) 血管透過性は亢進する。
 - d) 循環動態安定後も、中心静脈栄養を継続する。
- (1)aとb (2)aとc (3)aとd (4)bとc (5)cとd

20-145 嚥下についての記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 嚥下の準備期とは、食物を認知する時期のことである。
 - b) 嚥下の直接訓練では、食物を用いる。
 - c) 顎を上にあげて嚥下をすると、誤嚥しやすい。
 - d) 粘性の低い液体は、誤嚥しにくい。
- (1)aとb (2)aとc (3)aとd (4)bとc (5)cとd

20-146 小児の急性糸球体腎炎に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) ステロイド療法が行われる。
- (2) A群β溶血性連鎖球菌に感染した後に起こる。
- (3) 腎機能が低下している場合でも、たんぱく質摂取は制限しない。
- (4) 低コレステロール血症がみられる。
- (5) 利尿期には、水分管理を行わない。

第 20 回国家試験 午後問題

20-147 小児疾患に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 周期性嘔吐症では、白色水様便がみられる。
- (2) 周期性嘔吐症は、乳児期に好発する。
- (3) 乳児下痢症の重症度の判定は、体重減少率を用いる。
- (4) 重症の乳児下痢症では、経口栄養とする。
- (5) 周期性嘔吐症は、たんぱく尿を伴う。

20-148 小児の栄養状態に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) エネルギー不足では、身長伸びは正常である。
- (2) 体重が身長相当標準体重の 80%以下は、栄養失調症である。
- (3) ビタミン A 欠乏症により、くる病を発症する。
- (4) カルシウム欠乏により、クワシオルコルを発症する。
- (5) 小児の重症肥満は、肥満度が +20%以上である。

20-149 妊娠中にみられる病態に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 妊娠貧血では、巨大児のリスクが増加する。
- (2) 妊娠貧血では、鉄剤投与は行わない。
- (3) 妊娠糖尿病では、妊娠に伴うエネルギー付加は行わない。
- (4) 食事療法で血糖コントロールができない妊娠糖尿病では、インスリン療法を用いる。
- (5) 妊娠糖尿病は、分娩後に正常化して糖尿病を発症しない。

20-150 褥瘡についての記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 好発部位は仙骨部、大転子部である。
 - b) 創傷からたんぱく質が漏出する時期は、低たんぱく食にする。
 - c) 治療は圧迫の除去を行う。
 - d) 水分摂取は褥瘡を悪化させる原因になるので制限する。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 20 回国家試験 午後問題

20-151 公衆栄養学に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 地域や職域といった人間の集団を対象とする。
 - b) 生活習慣病を有しているものの療養を、第一の目的とする。
 - c) 目標設定や活動方法について、ヘルスプロモーションの考え方を重視する。
 - d) 福祉分野は、公衆栄養活動の対象とはならない。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-152 社会調査法に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 面接調査法は、他の調査法に比べて費用がかからない。
 - b) 留置き調査法は、家族の影響を受けやすい。
 - c) 郵送調査法は、家族の影響を受けるので意見や態度の把握に向いていない。
 - d) 電話調査法は、音声のみなので、調査員の影響は受けない。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-153 ある地域において、健康・食生活上の課題についてコミュニティオーガニゼーションを通して解決することになった。この場合、行政の関わり方に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 行政は、活動内容を指示する。
 - b) 行政は、活動内容を地域住民に紹介する。
 - c) 住民自ら共通の課題を見出し、目標設定を行う。
 - d) 活動している既存の社会資源の活用は、必要としない。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-154 ある地域集団の肥満者の割合を低下させるという長期目標がある。この場合の短期・中期目標に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 糖尿病有病率の低下
 - b) 心疾患死亡率の低下
 - c) 運動習慣を持つ者の割合の増加
 - d) 自分の適正体重を維持できる食事量を理解している者の割合の増加
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 20 回国家試験 午後問題

20-155 オタワ憲章（WHO）のヘルスプロモーションの活動概念に関する記述である。間違ってるものを選び。

- (1) 健康を支援する環境づくり
- (2) リハビリテーションの充実
- (3) 個人技術の強化
- (4) 健康的な公共政策づくり
- (5) ヘルスサービスの方向転換

20-156 保健所を設置していない市町村における行政栄養士の役割についての記述である。正しいものを選び。

- (1) 栄養士免許の交付
- (2) 県民栄養調査の企画
- (3) 健康診査後の栄養指導
- (4) 難病患者に対する栄養指導
- (5) 加工食品の栄養成分表示の指導

20-157 市町村における母子保健対策に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 母子保健に関する対策は、妊娠から乳幼児期までを対象としている。
- (2) 母子保健法では、健康診査を 1 歳 6 か月児と 5 歳児で実施することになっている。
- (3) 疾病が発見された場合には、市町村の保健センターで治療を行う。
- (4) 栄養状態は、当日の健診結果のみから判断できる。
- (5) 栄養状態に問題があった場合には、個別相談または集団指導を行う。

20-158 外食料理の栄養成分表示を推進する事業における、保健所管理栄養士の取り組みについての記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 事業推進のために、保健所管理栄養士のみからなるプロジェクトチームを作る。
 - b) 住民に対する広報活動として、パンフレットやポスターを作成、配布する。
 - c) 飲食店営業者に対し、栄養成分を表示するメニューのアドバイスをを行う。
 - d) 飲食店の利益より、栄養成分表示を優先するように指導する。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 20 回国家試験 午後問題

20-159 公衆栄養プログラム計画を策定する際の留意すべき点である。間違っているものを選び。

- (1) 実施可能性を考慮する。
- (2) 短期的目標が必要である。
- (3) 必要な資源と利用可能な資源を比較し、検討する。
- (4) 他の計画との整合性を考慮する。
- (5) 対象者は健康上の問題を持っている者のみとする。

20-160 保健所が特定給食施設での栄養管理について指導・支援をおこなう場合の結果評価の指標に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 保健所が支援・指導した施設数
- (2) 心理相談を受けた者の割合
- (3) 超過勤務をした者の割合
- (4) 喫煙予防プログラムに参加した者の割合
- (5) 生活習慣病のリスクファクターが軽減した者の割合

20-161 100 人の対象者で各人 12 日間の食事記録をおこない、栄養素毎に摂取量の個人内、個人間の変動係数 (CV%) を算出した。炭水化物の個人内変動は 30%、個人間変動は 15%であった。ビタミン A の個人内変動は 100%、個人間変動は 30%であった。この調査に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 個人の摂取量を把握するためには、ビタミン A は、炭水化物より長い調査日数が必要である。
- (2) 個人の摂取量を把握するためには、炭水化物とビタミン A では、同じ調査日数が必要である。
- (3) 摂取量の個人差は、炭水化物のほうがビタミン A より大きい。
- (4) 摂取量を把握するために必要な調査日数は、個人のほうが集団よりも短い。
- (5) 摂取量を把握するために必要な調査日数は、個人と集団で同じである。

20-162 食事調査法についての記述である。正しいものを選び。

- (1) 1 日の食事記録は、個人の習慣的な摂取量の推定に適している。
- (2) 24 時間思い出し法は、個人の複数日の摂取量の正確な把握に適している。
- (3) 1 日の陰膳法は、個人の習慣的な欠食状況の把握に適している。
- (4) 食物摂取頻度調査法は、個人の習慣的な摂取量の相対的なランク付けに適している。
- (5) 食事歴法は、思い出しが困難な高齢者の摂取状況の把握に適している。

第 20 回国家試験 午後問題

20-163 食品群別摂取量の変化についての記述である。1980 年頃から今日に至るまでの食品群別摂取量の年次推移を国民健康・栄養調査（国民栄養調査）結果でみると、次のような状況となっている。魚介類(a) 緑黄色野菜(b) 砂糖・甘味料類(c)。()に入る語群である。正しいものを選べ。

- (1) a:横ばい b:増加 c:減少
- (2) a:減少 b:増加 c:横ばい
- (3) a:増加 b:減少 c:横ばい
- (4) a:横ばい b:減少 c:減少
- (5) a:増加 b:横ばい c:増加

20-164 国民健康・栄養調査に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 地域保健法に基づいて実施される。
- (2) 対象者は、家計調査において設定された地区内から抽出される。
- (3) 内容は、栄養摂取状況と体力測定からなっている。
- (4) 調査は、春に行う。
- (5) 調査結果は、「健康日本 21」の目標の評価に活用できる。

20-165 「健康日本 21」に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 平均寿命の延伸を図ることを目的としている。
- (2) 生活習慣病の二次予防に重点を置いている。
- (3) 毎年、改善目標の達成度を評価することが決められている。
- (4) 効果的な推進には、マスメディア等による適切な情報提供も必要としている。
- (5) 地域保健法には、「健康日本 21」を推進するための地方計画の策定が規定されている。

20-166 「食事摂取基準（2005 年版）」の指標に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 目標量とは、欠乏症を防ぐために目指すべき栄養素摂取量である。
 - b) 推定平均必要量とは、生活習慣病の一次予防のために目指すべき栄養素摂取量である。
 - c) 推奨量とは、特定の集団に属するほとんどの者（97%～98%）が必要量を満たすと推定される栄養素摂取量である。
 - d) 目安量とは、推定平均必要量・推奨量を算定するのに十分な科学的根拠がない場合に設定されるものである。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 20 回国家試験 午後問題

20-167 個人レベルで「食事摂取基準（2005 年版）」を活用するに当たっての基本的考え方に関する記述である。間違っているものを選べ。

- (1) 1 日の食事調査から評価する。
- (2) エネルギー摂取量の評価には、体格指標を用いる。
- (3) 適用する食品には、サプリメントも含まれる。
- (4) 栄養素摂取量の評価には、充足率の考えを用いない。
- (5) 推定エネルギー必要量の算定には、身体活動レベルを考慮する。

20-168 ある人の習慣的などタミン C の摂取量が 100mg/日であった。「食事摂取基準（2005 年版）」では、ビタミン C の推定平均必要量は 85mg/日、推奨量は 100mg/日である。この人が、必要量を満たしている確率である。正しいものを選べ。

- (1) 0.05
- (2) 67～68%
- (3) 77～78%
- (4) 97～98%
- (5) 0.01

20-169 ある特定地域の 20 歳代の男性集団において、鉄の習慣的な摂取状況について把握したところ、「食事摂取基準（2005 年版）」における推定平均必要量未満の者の割合が 10%、推奨量未満の者の割合が 30%、上限量以上の者の割合が 2%であった。この結果から、アセスメントを実施し、以下の判断を行った。正しいものの組合せを選べ。

- a) 不足者の割合は、ほぼ 10%である。
 - b) 不足者の割合は、ほぼ 30%である。
 - c) 過剰摂取による健康障害のリスクをもつ者の割合は、2%である。
 - d) 摂取量が足りていた人の割合は、68%である。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-170 国際的な健康・栄養問題に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) ローマ宣言（1996 年）は、2015 年までに世界の肥満者の割合を現在の半分にすることを目標としている。
- (2) FAO の主な役割は、発展途上国の児童に対するワクチンの供給である。
- (3) WHO 報告によると、日本人の健康寿命は男女とも加盟国の中で第 1 位である。
- (4) WHO の報告によると、発展途上国において、この 20 年間に肥満者が増加している国はない。
- (5) FAO の報告によると、世界全体では微量栄養素欠乏者数は、たんぱく質・エネルギー欠乏者数よりも少ない。

第 20 回国家試験 午後問題

20-171 事業所給食施設の給食目的に関する記述である。間違ってるものを選べ。

- (1) QOL の向上
- (2) 健康の保持・増進
- (3) 加工食品の普及
- (4) 好ましい食習慣の形成
- (5) 食環境の整備

20-172 給食経営の評価項目に関する記述である。間違ってるものを選べ。

- (1) 喫食者の満足
- (2) 調理従事者の負担
- (3) 給食管理者の負担
- (4) 食材納入業者の負担
- (5) 施設設置者の満足

20-173 給食におけるマーケティングに関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) マーケティングは、顧客志向を有していない。
- (2) マーケティング・リサーチとマーケット・リサーチの対象は同じである。
- (3) マーケティング・リサーチの 1 つに、喫食者の満足度調査をあげることができる。
- (4) マーケティングの焦点は、喫食者のニーズやウォンツであってはならない。
- (5) マーケティング活動には、生産者及び販売者の自己点検が含まれる。

20-174 特定給食施設における栄養・食事管理の目標である。正しいものを選べ。

- (1) 給与栄養量の算定
- (2) 食品構成表の作成
- (3) 喫食者の健康維持
- (4) 材料費のコスト管理
- (5) 適時・適温サービス

第 20 回国家試験 午後問題

20-175 特定給食施設における「食事摂取基準（2005 年版）」に基づく食事計画に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) エネルギーは、推定エネルギー必要量以上とする。
- (2) エネルギーの個人間の幅は、200kcal 程度以内をひとまとめにして設定する。
- (3) たんぱく質は、推定平均必要量以上であれば不足の心配はない。
- (4) カルシウムは、目標量よりも目安量の方が摂取しやすい。
- (5) 成人女性の食塩摂取量は、10g 未満を目指す。

20-176 特定給食施設における献立作成時の注意事項に関する記述である。間違っているものを選び。

- (1) 給与栄養目標量の範囲内にする。
- (2) 嗜好を優先した個人対応にする。
- (3) 原価の予算内に収まるものにする。
- (4) 多様な食品を活用したものにする。
- (5) HACCP における重要管理点の設定を考慮する。

20-177 A 事業所では、食堂利用率が低下してきたので、利用者の増加を図るため新たに検討組織を作ることになった。正しいものを選び。

- (1) ファンクショナル組織
- (2) 事業部組織
- (3) ラインアンドスタッフ組織
- (4) マトリックス組織
- (5) プロジェクトチーム

20-178 調理従事者の衛生教育の方法の OJT (on-the-job training) に関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 施設の衛生管理マニュアルに基づく作業中の教育
 - b) 保健所主催の食中毒予防対策講習会への参加
 - c) 衛生管理チェックの結果に基づくミーティング
 - d) 食品衛生に関する通信教育の受講
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 20 回国家試験 午後問題

20-179 給食管理における生産工程、作業区域、設備の組合せである。正しいものを選べ。

- (1) 食材の保管—汚染作業区域—プラスチックラー
- (2) 下処理—汚染作業区域—ピーラー
- (3) 主調理—汚染作業区域—スチームコンベクションオープン
- (4) 下膳—非汚染作業区域—食器消毒保管庫
- (5) 食器洗浄—非汚染作業区域—残菜処理機

20-180 特定給食施設における在庫管理に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 納入品は、在庫品の手前に置き、手前から使用するよう従業員に周知した。
 - b) 発注から納品までの期間に支障をきたさない量を最少限度量とし、食品棚の前面に表示した。
 - c) 最少限度量に近づいた食品を発見した従業員は、発注担当者に通知するよう周知した。
 - d) 当該月の納入量から月末の在庫量を差し引いて、月間使用量とした。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-181 クックチルシステムにおける時間と温度管理に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 加熱調理では、食品の中心温度 75℃、1 分以上を確認する。
 - b) 加熱終了後 90 分以内に 0～3℃に冷却する。
 - c) 配送中の食品の温度は、10℃以下に保持する。
 - d) 提供時の再加熱は、食品の中心温度 65℃、1 分以上を確認する。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-182 特定給食施設の調理作業時に観察された事項である。衛生管理上改善が必要な項目である。正しいものを選べ。

- (1) サラダに使用するトマトを、生食野菜指定のまな板の上で切った。
- (2) 作業開始前に盛付け後のサラダの保管冷蔵スペースを確認した。
- (3) 揚げ物の作業中に食品の中心温度を適宜測定し、仕上がりの目安とした。
- (4) 肉の加熱調理では、下処理作業と加熱作業の担当者を別にした。
- (5) 回転釜から料理を取り出す作業を、床面から 40cm の位置で行った。

第 20 回国家試験 午後問題

20-183 給食の品質管理に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 品質基準の変更はできない。
 - b) 食材のロスが低減できる。
 - c) 調理作業の改善に役立つ。
 - d) 顧客満足度に影響しない。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-184 作業工程標準化の目的に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 作業マニュアルの作成
- (2) 正規職員の増員
- (3) 作業時間の合理化
- (4) 作業動線の伸長
- (5) 衛生チェックの廃止

20-185 給食の原価に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 給食の原価とは、給食の製造に要する金額である。
 - b) 食単価契約の販売価格は、製造原価に利益を加えたものである。
 - c) 外注加工の食材料費は、直接材料費として扱う。
 - d) 食材料の原価分析のためには、ABC 分析を用いることができる。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-186 損益分岐点分析に関する記述である。食単価契約で給食を運営している事業所における月間の売上高は 200 万円、変動費 120 万円、固定費 60 万円であった。この場合の変動費率は(a)、損益分岐点は(b)であり、経営状態は(c)である。() に入る語群である。正しいものを選べ。

- (1) a: 0.6 b:150 万円 c:利益がでている状態
- (2) a: 0.6 b:200 万円 c:損失がでている状態
- (3) a: 0.5 b:200 万円 c:利益も損失もでていない状態
- (4) a: 0.4 b:150 万円 c:損失がでている状態
- (5) a: 0.4 b:200 万円 c:利益がでている状態

第 20 回国家試験 午後問題

20-187 給食運営業務の安全管理対策に関する記述である。安全な食事を提供するための対策として、作業中にヒヤリ・ハットの経験をもつ給食従事者から(a)の提出を求め、(b)事例を集積・分析し、安全対策の改善策を作成する。()に入る語群である。正しいものを選べ。

- (1) a: アクシデントレポート b: アクシデント
- (2) a: インシデントレポート b: インシデント
- (3) a: ヒューマンエラーレポート b: アクシデント
- (4) a: アクシデントレポート b: インシデント
- (5) a: インシデントレポート b: ヒューマンエラー

20-188 給食運営業務の委託に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 保育所の検食は、委託側または受託事業者のいずれが行ってもよい。
 - b) 学校における献立作成は、業務委託の対象となっている。
 - c) 事業所における利用者の栄養管理の責任は、委託側にある。
 - d) 病院では、委託側が献立表作成基準を作成する。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-189 院外調理に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 調理加工施設は、食品衛生法に基づく営業の許可の対象になる。
 - b) 院外調理を行う病院では、給食施設を設置する必要がない。
 - c) 病院に老人保健施設を併設する場合は、給食施設の共用が認められる。
 - d) 調理加工施設から病院への搬送は、品温 3～10℃で行う。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

20-190 健康増進法における特定給食施設等の栄養管理の基準に関する記述である。間違ってるものを選べ。

- (1) 栄養状態等を把握して、食事の提供及びその品質管理を行うように努めること。
- (2) 食事の献立は、身体の状態等に配慮して作成するよう努めること。
- (3) 利用者に対して、栄養に関する情報の提供を行うこと。
- (4) 衛生の管理については、食品衛生法その他関係法令の定めるところによること。
- (5) 作成した帳簿は、全て 5 年以上保存すること。

第 20 回国家試験 午後問題

20-191 40 歳健康常男性、身長 170cm、体重 68kg の推定エネルギー必要量 (EER) は 2.250kcal、たんぱく質摂取量は 55g であった。たんぱく質の推定平均必要量 (EAR) は 0.74g/kg、推奨量 (RDA) は 0.93g/kg である。たんぱく質摂取量に関して正しいのはどれか。

- (1) 過剰であった。
- (2) 適切であった。
- (3) 不足の危険率は 50%未満であった。
- (4) 不足の危険率は 50%以上であった。
- (5) 不足であった。

20-192 40 歳健康常男性、身長 170cm、体重 68kg の推定エネルギー必要量 (EER) は 2.250kcal、たんぱく質摂取量は 55g であった。たんぱく質の推定平均必要量 (EAR) は 0.74g/kg、推奨量 (RDA) は 0.94g/kg である。脂質摂取量で最も望ましいのはどれか。

- (1) 85g
- (2) 75g
- (3) 65g
- (4) 55g
- (5) 45g

20-193 某社では、男性単身者は社員寮に居住し、朝食と夕食が提供されている。男性単身者には肥満が多く、同僚との外食が多いことが課題として抽出された。「適正体重を維持し、生活習慣病を予防する」ことを目標として、効果的な栄養教育プログラムの開発のために、無作為化比較研究デザインで 6 か月間の栄養教育の効果を評価したい。栄養教育プログラム策定に関する記述である。正しいのはどれか。

- (1) 希望する全ての男性社員は対象となりうる。
- (2) BMI の高い人を介入群に割り付ける。
- (3) 開始時の身体計測は、介入群のみに行えばよい。
- (4) 15kg の体重減少を全員のアウトカムとする。
- (5) 対照群には、何も教えてはならない。

第 20 回国家試験 午後問題

20-194 某社では、男性単身者は社員寮に居住し、朝食と夕食が提供されている。男性単身者には肥満が多く、同僚との外食が多いことが課題として抽出された。「適正体重を維持し、生活習慣病を予防する」ことを目標として、効果的な栄養教育プログラムの開発のために、無作為化比較研究デザインで 7 か月間の栄養教育の効果を評価したい。介入群にグループカウンセリングを行う際の、教育スタッフのかかわり方に関する記述である。正しいのはどれか。

- (1) 学習者の体重を皆に紹介する。
- (2) 肥満者は昇進しにくいことを伝える。
- (3) 寮の給食会社を変えるための署名を求める。
- (4) 外食料理を選ぶ際の気持ちについて語り、話題にするように導く。
- (5) 合併症を持つ人が優先的に話せるよう配慮する。

20-195 62 歳男性、身長 165cm、体重 60kg、38 歳のときに交通事故のため輸血を受けた。50 歳のときに C 型肝炎ウイルス感染による肝障害を指摘され治療を受けた。食欲不振や意識障害はなく、腹水と黄疸は認められない。血液生化学検査結果では、AST50IU/L、Au、40IU/L、アルブミン濃度 3.2g/dL、 γ -グロブリン分画は 26%、 α -フェトプロテインは検出限界以下、フィッシャー比は 2.5 であった。更に、肝臓の生検では肝組織の著明な線維化と偽小葉を認めた。本症の病態として正しいのはどれか。

- (1) 慢性活動性肝炎
- (2) 代償性肝硬変
- (3) 非代償性肝硬変
- (4) 脂肪肝
- (5) 肝細胞癌

20-196 62 歳男性、身長 165cm、体重 60kg、38 歳のときに交通事故のため輸血を受けた。50 歳のときに C 型肝炎ウイルス感染による肝障害を指摘され治療を受けた。食欲不振や意識障害はなく、腹水と黄疸は認められない。血液生化学検査結果では、AST50IU/L、Au、40IU/L、アルブミン濃度 3.2g/dL、 γ -グロブリン分画は 26%、 α -フェトプロテインは検出限界以下、フィッシャー比は 2.6 であった。更に、肝臓の生検では肝組織の著明な線維化と偽小葉を認めた。本患者の栄養管理法として正しいものの組合せはどれか。

- a) エネルギー摂取量は標準体重 kg 当たり 35kcal とする。
 - b) たんぱく質を標準体重 kg 当たり 1
 - c) 分枝アミノ酸摂取を制限する。
 - d) 食物繊維の摂取量を制限する。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 20 回国家試験 午後問題

20-197 60 歳男性、突然の腹痛にて入院し、イレウス診断にて開腹術を行った。腸管の広範囲な壊死を認めたため空腸起始部 50cm、S 状結腸 50cm を残して切除後、吻合手術を行った。手術後、身長 172cm、体重 54kg（入院前 6 か月間に体重は 15%減少した）、上腕筋囲 21.5cm（標準値 24.8cm）、血漿アルブミン 2.7g/dL、血漿ブレイアルブミン 24.3mg/dL（標準値 28~40mg/dL）であった。栄養アセスメントとして正しいのはどれか。

- (1) 入院前 6 か月間、摂取エネルギーは、必要量を満たしていた。
- (2) たんぱく質の栄養状態は、1 週間以内に悪化した。
- (3) 手術後も小腸の面積は、変わっていない。
- (4) 残存する小腸部分の単位面積当たりの吸収能力は、低下している。
- (5) たんぱく質・エネルギー低栄養状態にある。

20-198 60 歳男性、突然の腹痛にて入院し、イレウス診断にて開腹術を行った。腸管の広範囲な壊死を認めたため空腸起始部 50cm、S 状結腸 50cm を残して切除後、吻合手術を行った。手術後、身長 172cm、体重 54kg（入院前 6 か月間に体重は 15%減少した）、上腕筋囲 21.5cm（標準値 24.8cm）、血漿アルブミン 2.7g/dL、血漿ブレイアルブミン 24.3mg/dL（標準値 28~41mg/dL）であった。手術後の栄養管理に関する記述である。正しいのはどれか。

- (1) 投与エネルギーは、必要量より少なくする。
- (2) アミノ酸・たんぱく質の補給は制限する。
- (3) できるだけ早期に経腸栄養の使用を検討する。
- (4) 便秘防止のために輸液量を多くする。
- (5) 血糖値をモニターする必要はない。

20-199 79 歳男性、身長 160cm、体重 45kg、61 歳の時に高血圧と診断され、69 歳の時に脳梗塞の既往があり、1 週間前に脳梗塞を再発した。右上下肢麻痺を呈し、食事は要介助である。舌の動きが悪く食塊の形成困難、嚥下反射の遅延がみられた。血液生化学検査では、総たんぱく質 6.0g/dL、アルブミン 3.3g/dL を示した。この症例における、栄養管理に関する記述である。誤っているのはどれか。

- (1) 食塩制限
- (2) 低栄養の改善
- (3) 褥瘡の防止
- (4) 誤嚥性肺炎の防止
- (5) 水分制限

第 20 回国家試験 午後問題

20-200 79 歳男性、身長 160cm、体重 45kg、61 歳の時に高血圧と診断され、69 歳の時に脳梗塞の既往があり、1 週間前に脳梗塞を再発した。右上下肢麻痺を呈し、食事は要介助である。舌の動きが悪く食塊の形成困難、嚥下反射の遅延がみられた。血液生化学検査では、総たんぱく質 6.0g/dL、アルブミン 3.4g/dL を示した。この症例において提供すべき治療食の形態として、正しいのはどれか。

- (1) 通常の食事
- (2) 粗いきざみ食
- (3) 細かいきざみ形態
- (4) ミキサー食
- (5) ゼリー食（ソフト食）

第 20 回国家試験 午後問題

解答用紙

番号	解答	番号	解答	番号	解答	番号	解答
20-106		20-156					
20-107		20-157					
20-108		20-158					
20-109		20-159					
20-110		20-160					
20-111		20-161					
20-112		20-162					
20-113		20-163					
20-114		20-164					
20-115		20-165					
20-116		20-166					
20-117		20-167					
20-118		20-168					
20-119		20-169					
20-120		20-170					
20-121		20-171					
20-122		20-172					
20-123		20-173					
20-124		20-174					
20-125		20-175					
20-126		20-176					
20-127		20-177					
20-128		20-178					
20-129		20-179					
20-130		20-180					
20-131		20-181					
20-132		20-182					
20-133		20-183					
20-134		20-184					
20-135		20-185					
20-136		20-186					
20-137		20-187					
20-138		20-188					
20-139		20-189					
20-140		20-190					
20-141		20-191					
20-142		20-192					
20-143		20-193					
20-144		20-194					
20-145		20-195					
20-146		20-196					
20-147		20-197					
20-148		20-198					
20-149		20-199					
20-150		20-200					
20-151							
20-152							
20-153							
20-154							
20-155							

第 20 回国家試験 午後問題

番号	解答	番号	解答	番号	解答	番号	解答
20-106	4	20-156	3				
20-107	1	20-157	5				
20-108	2	20-158	4				
20-109	5	20-159	5				
20-110	2	20-160	5				
20-111	5	20-161	1				
20-112	4	20-162	4				
20-113	1	20-163	1				
20-114	2	20-164	5				
20-115	1	20-165	4				
20-116	5	20-166	5				
20-117	4	20-167	1				
20-118	3	20-168	4				
20-119	2	20-169	2				
20-120	4	20-170	3				
20-121	2	20-171	3				
20-122	4	20-172	4				
20-123	1	20-173	3				
20-124	4	20-174	3				
20-125	2	20-175	2				
20-126	4	20-176	2				
20-127	4	20-177	5				
20-128	1	20-178	2				
20-129	3	20-179	2				
20-130	2	20-180	4				
20-131	2	20-181	1				
20-132	2	20-182	5				
20-133	2	20-183	4				
20-134	4	20-184	3				
20-135	5	20-185	5				
20-136	5	20-186	1				
20-137	2	20-187	2				
20-138	3	20-188	5				
20-139	4	20-189	2				
20-140	不適切問題	20-190	5				
20-141	4	20-191	3				
20-142	5	20-192	4				
20-143	3	20-193	1				
20-144	2	20-194	4				
20-145	4	20-195	2				
20-146	2	20-196	1				
20-147	3	20-197	5				
20-148	2	20-198	3				
20-149	4	20-199	5				
20-150	2	20-200	5				
20-151	2						
20-152	4						
20-153	4						
20-154	5						
20-155	2						